有線/無線LAN両対応ネットワークカメラ

CS-W01B

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

使用前に必ずお読みください

■本書の目的

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

・ 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ 通信内容や保持情報の漏洩、改竄、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
・ 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
・ 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
・ 本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

・ 本書の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本書の記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
・ 本書の記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
・ 本書および記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

●マニュアル内の表記について
本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

本製品を安全にご利用いただくために

⚠警告

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

■ 無線機器に関して

・心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている近くで本製品をご利用にならないでください。
列車内など、人と人が近接する可能性のある場所では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用されている方と近接することで、万一にでもそれらの機器に影響を与えることを防ぐためです。

・医療機関内でのご利用は各医療機関の案内および指示にしたがってください。
医療機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは万一にでも各種医療機器へ影響を与えて事故の原因となる恐れを防ぐためです。本製品の電波出力は規定に沿ったもので、各医療機器への影響は少ないですが、前述の心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各医療機関の案内および指示にしたがってください。詳しくは各医療機関へお問い合わせください。

・交通機関内でのご利用は各交通機関の案内および指示にしたがってください。
交通機関内では、本製品をコンピュータから取り外すか、無線LAN機能を無効にしてください。
これは各種交通機関の制御装置や機器などに影響を与える恐れを防ぐためです。特に各航空会社については、航空機の飛行状況などによって、機内での電子機器や無線機器の利用を禁止しています。航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因となる恐れがあるため、本製品は機内でご利用にならないでください。詳しくは各交通機関へお問い合わせください。

・電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。
電子レンジを使用するとき、電磁波の影響によって無線通信が妨害される恐れがあります。このため電子レンジの近くで本製品をご利用にならないでください。これは電磁妨害によって本製品の通信が途絶えたり速度が遅くなったりなどの動作が不安定になるのを防ぐためです。

■ 設置及び保管に関して

・動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。
範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで本製品をご利用にならないでください。
本製品が加熱することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・温度変化の激しい場所で本製品をご利用にならないでください。
動作範囲内の温度であっても温度変化が激しい場所でご利用することで、結露などが原因で感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。
本製品に液体がこぼれることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは取り除いてください。
コンピュータの取り付け口に異物が混入した状態で本製品を取り付けることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を分解、改造しないでください。
本製品を分解または改造することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。また改造は法律で禁止されています。

■ 電波に関して

・本製品の無線LANの周波数帯は、医療機器、電子レンジなどの産業・科学機器や工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。
本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。

・その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.　4 D S 4

■ 取り扱いに関して

・高温に注意してください。
本製品の使用中は高温になっている恐れがあります。不用意に触ると火傷の恐れがあります。

・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所で本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。

・落下や衝撃に注意してください。
本製品に落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。

■ その他

・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。

・ご利用のコンピュータのデータのバックアップを取得してください。
本製品のご利用にかかわらず、コンピュータのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったとき回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。

■無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利〈プライバシー保護〉に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りをおこなうため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこっていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
・不正に侵入される
　悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定をおこなって製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがっておこなってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティの設定をおこなわないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、製品を使用することをお奨めします。

目次

1．はじめに

1 概要

本製品はイーサネットに接続できるネットワークカメラです。また、IEEE802.11b準拠の無線機能を搭載しており、無線ネットワークに直接接続することもできます。

本製品はコンピュータへ取り付けるWEBカメラとは異なり、内蔵CPUによる独立したシステムを使用し、コストパフォーマンスをはかったうえで、高品質なビデオ映像を送信、監視することができます。本製品はネットワークへ接続されたコンピュータからインターネットやイントラネットを経由してリモート管理ができます。また、簡単なインストール手順とWEBベースの設定画面は容易にネットワークと連携し、コスト的に効率の良いビデオモニタリングが構築できます。

2 特長

●簡単設定・モニタリング
WEBベースの設定画面を使用し、WEBブラウザから簡単に設定できます。また、パソコンのWEBブラウザに本製品のIPアドレスを入力して映像を見ることができます。

●最大4台のカメラを接続可能
最大4台のカメラを接続することができ、付属のユーティリティを使うことで同時に最大４台のカメラを監視できます。

●動態検知機能・アラーム機能
カメラ映像の変化を検知し、録画を開始できます。(動態検知)
また、動態検知をビープアラームやメールで通知できます。(アラーム機能)

●スケジュール設定機能
特定の曜日・時間帯、あるいは日付を設定し、録画の開始・終了をコントロールできます。

●録画容量制限
録画ファイルの最大容量が設定できます。設定値に到達したら古いデータは自動で削除がされ、領域をリサイクルできます。

●保存ファイル分割
録画ファイルのサイズが指定できます。設定値に到達したら映像は自動的に次のファイルに録画されます。

●FTPクライアント機能

FTPクライアント機能が搭載され、FTPサーバへ接続できます。カメラの映像はスケジュールや手動でFTPサーバへアップロードできます。

3 梱包内容の確認

パッケージから注意して内容物を取り出し、以下の付属品が含まれていることを確認してください。

・CS-W01B本体
・外部アンテナ
・スタンドセット
(カメラスタンド×1、スタンド用ネジ×1、壁取り付けネジ×3、ゴム足×3)
・UTPクロスLANケーブル 1m(設定用)
・AC電源アダプタ
・マニュアル＆ユーティリティCD-ROM
・インストレーションガイド
・安全に関する説明書
・保証書

付属品が足りない場合、または破損などがある場合は、お手数ですが販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

4 システム要件

■　本製品をご使用いただくために以下のシステム要件を満たす必要があります。

◎　ネットワーク環境

有線ネットワーク
IEEE802.3 10Base-T、IEEE802.3u　100Base-TX
無線ネットワーク
IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN

◎　本製品接続の推奨コンピュータ

システム要件
・CPU:Pentium II, 266 MHz 以上
・メモリ:32 MB以上 (64 MB 推奨)
・画面:800x600以上
・Internet Explorer 5.0 以上
　(Windows：ActiveX モード、JAVA モード
　Windows以外：JAVA モードのみ)
・Netscape 6.0 以上 (JAVA モード)

◎　CS Series Viewer管理ユーティリティ

対応 OS: Win 98SE/Me/2000/XP

システム要件
CPU:Pentium III, 450 MHz 以上
メモリ:128 MB以上 (256 MB 推奨)
画面:800x600以上

5 活用法

■簡単な使用方法

本製品は内蔵CPUによる独立したシステムを持ち、コンピュータにはキャプチャカードなどの特別なハードウェアやソフトウェアなどを必要としません。本製品はInternet Explorer用のActiveXモードと、Internet ExplorerとNetscape用のJavaモードをサポートしており、有効なIPアドレスの設定と、配線するだけでカメラ映像を見ることができます。

注意

●Internet Explorerは5.0以上、Netscapeは6.0以上が必要です。

■幅広いプラットホームに対応

TCP/IP、SMTP Eメール、HTTPと、その他のインターネットプロトコルをサポートします。Windows、MacOS、Linuxなど複数のOSが混在する環境でも使用できます。

■WEBベースの設定画面

WEBブラウザを使用して本製品を設定することができます。
管理者は最大64人のユーザーを登録し、アクセス権を指定しコントロールできます。

■リモート管理ユーティリティ

CS Series Viewer管理ユーティリティを使うことで、IDとパスワードを持つ管理者がリモートで本製品を設定することができます。またファームウェアアップデートも、ネットワークからリモートでおこなえます。あらかじめ登録されたユーザーは映像をモニターしたり、スナップショットを撮ることもできます。

■多様な活用方法

本製品はイントラネットやインターネット経由のリアルタイム映像配信に最適なデバイスです。世界中どこでも、いつでもWEBブラウザを使ってアクセスができ、映像のモニタリング、設定やコントロールしたりすることもできます。
本製品は様々な用途に利用できます。自宅で、社内や工場、銀行、病院、保育園などの様々な公共の場所に設置しコンピュータの画面で状況を見ることができます。
他にも、静止画のキャプチャーなど、数多く利用法があります。

2. 各部の名称と役割
ハードウェア接続

1 各部の名称

■　本体前部

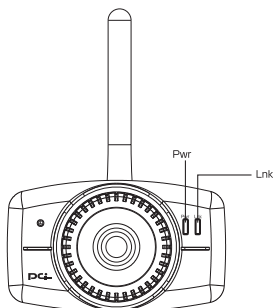



図2-1 CS-W01B前部

「Pwr 」LED
本製品の電源が入っているときに青色に点灯します。

「Lnk」LED
接続状態が確立しているときに橙色に点灯します。
通信状況によって、データ送受信中に点滅します。

PwrとLnk LEDの点灯設定は、通常／オフ／ダミー の3種類あります。設定方法は第4章「WEBブラウザからの設定」をご覧ください。

■　本体後部

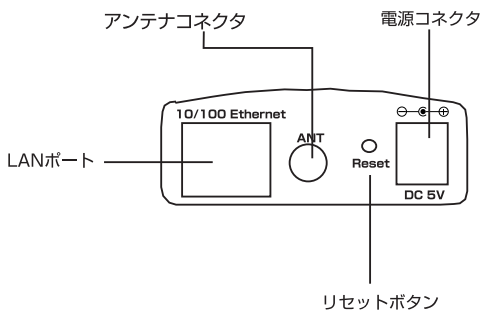



図2-2 CS-W01B 後部

「LANポート」

10Base-T／100Base-TX用LANケーブル（カテゴリー5）のRJ-45ポートです。10/100Mbpsを自動認識し、最適な速度で通信可能です。

「電源コネクタ」

付属のAC電源アダプタを接続するための電源コネクタです。

「リセットボタン」

本製品を再起動するときと、本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すときに使います。

・再起動

リセットボタンを押します。Pwr LEDが点滅したら再起動完了となります。

・出荷時設定に戻す

リセットボタンを約３秒間、またはPwr LEDが再点灯するまで押し続けます。Pwr LEDは点滅をはじめ、工場出荷時の設定に初期化されます。

・本製品の初期設定値

チャンネル:	**11**
ESSID:	**空欄(ANY)**
IPアドレス:	**192.168.1.200**

「アンテナコネクタ」
付属のアンテナを接続するためのコネクタです。

■　本体上部

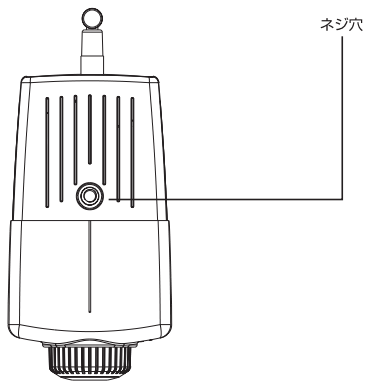



図2-3 CS-W01B 上部

「ネジ穴」
付属のカメラスタンドへの取り付けに利用します。

■本体底部

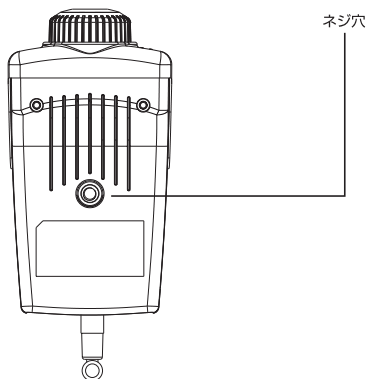
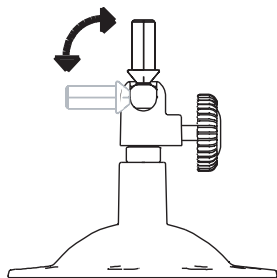



図2-4 CS-W01B 底部

「ネジ穴」

付属のカメラスタンドへの取り付けに利用します。

2 カメラスタンドへの固定

本製品の付属品としてスタンドセットがついています。
カメラスタンドの角度調整ネジを本製品の底部にあるネジ穴に取付けて固定します。カメラスタンドには３つの穴があいていますので、本製品を天井や壁にしっかりと固定できます。

3 ハードウェアの接続

■　外部アンテナの取り付け

無線LANカメラとして使用する場合は、本製品の後部のアンテナコネクタと付属の外部アンテナを取り付けます。

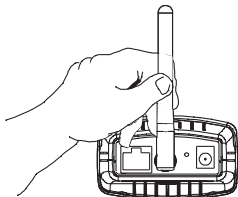



図3-1 外部アンテナの取り付け

■　LANケーブルの取り付け

本製品の後部にあるLANポートに付属のLANケーブルを取り付けます。

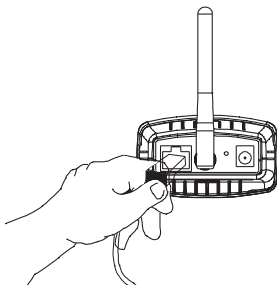



図3-2 LANケーブルの取り付け

■　AC電源アダプタの接続

本製品の後部にある電源コネクタに付属のAC電源アダプタを接続します。
AC電源アダプタをAC100Vコンセントに差し込みます。

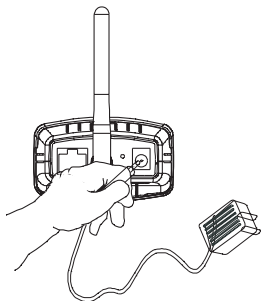



図3-3 AC電源アダプタの接続

本製品のPwr LEDが点灯し、電源が正常に接続されたことを確認してください。

注意

●ACアダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のACアダプタの使用は、製品の故障、誤動作などの原因となる可能性があります。付属以外のACアダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

4 セキュリティ

本製品の不正な使用を防ぐためにユーザー設定をおこなうことができます。ユーザー設定はシステム管理者によりおこなわれます。最大64人までのユーザーIDとパスワードをあらかじめ登録し、未登録のユーザーがアクセスすることを防ぐことができ、確実なセキュリティを確保できます。

注意

●初期設定では、管理者IDや管理者のパスワードは設定されていません。安全のため、本製品を最初に使用する際は必ず「管理者ID」と「管理者パスワード」の設定をおこなってください。これにより、管理者以外のユーザーは本製品の設定項目を利用できなくなります。また、「管理者ID」と「管理者パスワード」が設定されていなければ、本製品のセキュリティ設定をおこなうことができません。

3.本製品を設定するための準備

本製品を設定するためのコンピュータの設定について説明します。本製品は設定をWEBブラウザ上からおこないます。本章の手順に従ってご使用のコンピュータのネットワークの設定をおこなってください。

1 コンピュータの設定

ここではコンピュータ毎の設定について説明します。ご使用のOSの説明を参照に設定してください。

注意

●本製品は工場出荷時の設定で「192.168.1.200」に設定されています。コンピュータに割り当てるIPアドレスには「192.168.1.200」以外を割り当ててください。また、IPアドレスは他のネットワーク機器とも重ならないようにしてください。

●ここでは本製品のWEB設定画面にアクセスできるようにコンピュータのIPアドレス設定を変更します。本製品の設定が終わったら、ご使用のコンピュータのIPアドレス設定をもとに戻してください。

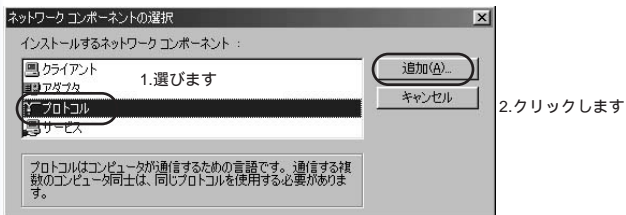
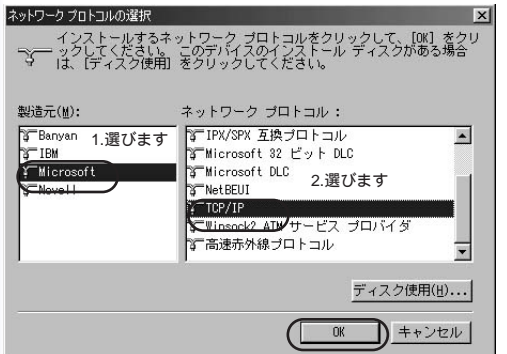
■Windows 98SE/Me

1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル」が表示されます。「ネットワーク」をダブルクリックします。「現在のネットワークコンポーネント」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認します。

確認します

表示されていない場合は以下の手順で各コンポーネントを追加します。すでに「TCP/IP」が表示されている場合は「5」へ進みます。

3.「ネットワーク」内の「追加」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」が表示されます。「プロトコル」を選び「追加」をクリックします。

4.「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。「製造元」から「Microsoft」、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選び「OK」をクリックします。

3.クリックします

5.「現在のネットワークコンポーネント」欄の「TCP/IP」を選び、「プロパティ」をクリックします。「IPアドレス」タブをクリックします。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得」にチェックがされています。画面上の「IPアドレスを指定」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1〜199，201〜254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定します。[OK]ボタンをクリックしてから、コンピュータを再起動してください。

注意

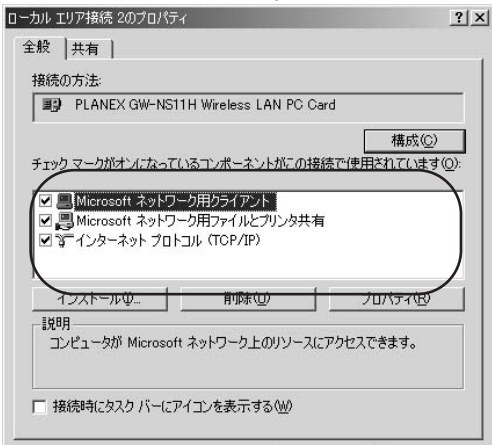
●IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.201」の場合、2台目を「192.168.1.202」、3台目を「192.168.1.203」、4台目を「192.168.1.204」の様に設定してください。

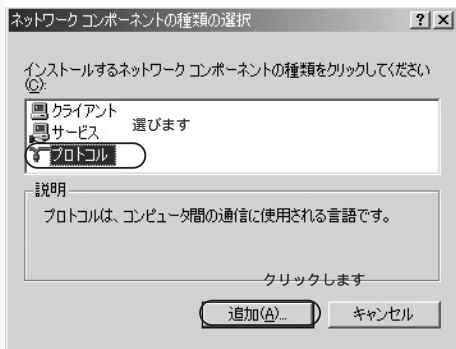
■Windows 2000

1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「設定」→「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選びます。

3.「ネットワークとダイヤルアップ接続」が表示されます。「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選びます。

4.「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「TCP/IP」が表示されているか確認してください。「TCP/IP」が表示されている場合表示されている場合は「8」へ進みます。

確認します

5.「ローカルエリア接続のプロパティ」内の「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」が表示されます。
「プロトコル」を選び「追加」をクリックします。

6.「ネットワークプロトコルの選択」が表示されます。
「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「インターネットプロトコル（TCP/IP)」を選び「OK」をクリックします。

ネットワーク プロトコルの選択

インストールするネットワーク プロトコルをクリックしてから [OK] をクリックしてください。このコンポーネントのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。

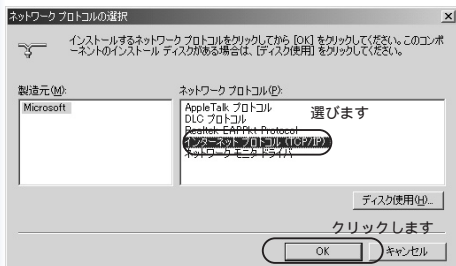
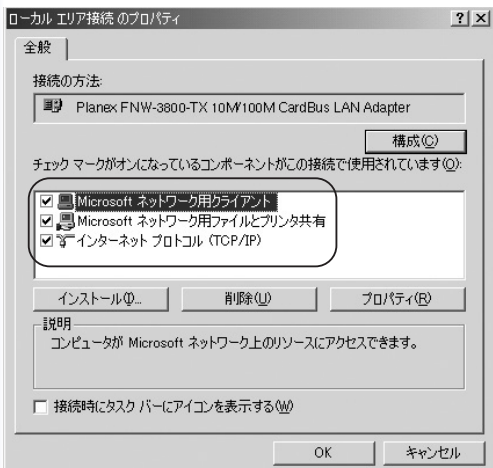
製造元(M):
Microsoft

ネットワーク プロトコル(P):
AppleTalk プロトコル
DLC プロトコル
Realtek EAPPkt Protocol
インターネット プロトコル (TCP/IP)
ネットワーク モニタ ドライバ

選びます

ディスク使用(H)...

クリックします

OK
キャンセル

7.「ローカルエリア接続のプロパティ」に戻ります。
「チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています」の欄に「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が追加されたか確認します。

確認します

8.TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。
「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選び「プロパティ」をクリックします。

9.「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。画面上の「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが入力できるようになります。

インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

クリックします

IP アドレス(I):

サブネット マスク(U):

デフォルト ゲートウェイ(D):

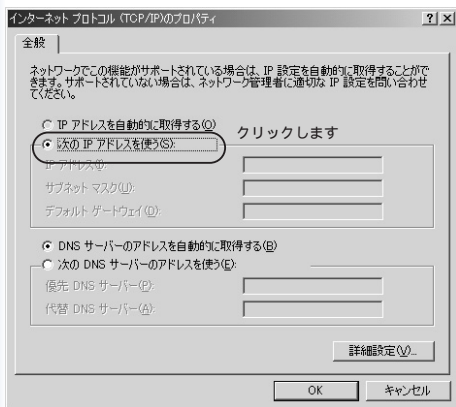
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P):

代替 DNS サーバー(A):

詳細設定(V)...

OK　キャンセル

10.「IPアドレス」に「192.168.1.X」（Xは1～199、201～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。この例ではIPアドレスを「192.168.1.201」に設定します。「OK」をクリックします。

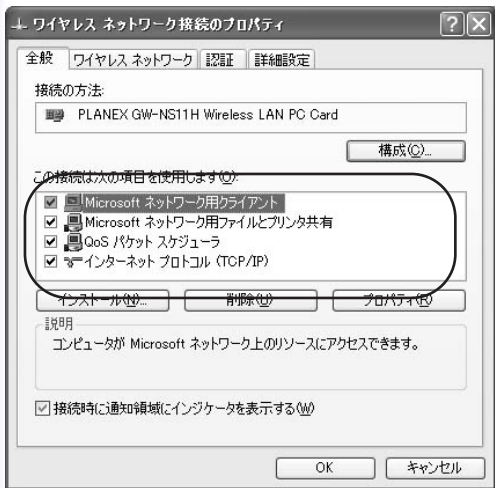
11.「ローカルエリア接続のプロパティ」の「OK」をクリックし画面を閉じます。再起動を要求されたときは再起動してください。

注意

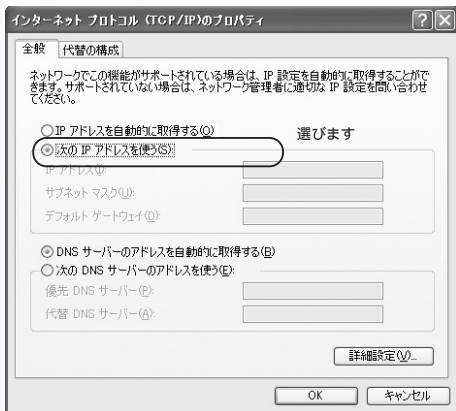
●IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.201」の場合、2台目を「192.168.1.202」、3台目を「192.168.1.203」、4台目を「192.168.1.204」の様に設定してください。

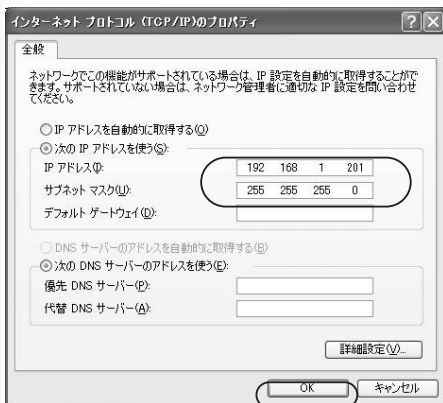
■Windows XP

1.コンピュータにLANアダプタがインストールされ、正常に認識されていることを確認してください。LANアダプタがインストールされていない場合は、LANアダプタのマニュアルを参照してインストールをおこなってください。

2.コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていることを確認します。「スタート」メニューから「ネットワーク接続」を選びます。「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」を選びます。「この接続は次の項目を使用します」の欄に「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のチェックボックスがオンになっているか確認します。チェックボックスがオフになっている場合はオンにします。

確認します

3.TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有のIPアドレスを設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選び「プロパティ」をクリックします。

4.「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」の画面が表示されます。初期設定では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックがされています。画面上の「次のIPアドレスを使う」にチェックをします。IPアドレス、サブネットマスクが入力できるようになります。

5.IPアドレスに「192.168.1.x」（xは1～199，201～254の任意の値）、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定します。［OK］ボタンをクリックしてから、コンピュータを再起動してください。

注意

●IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合はそれぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.201」の場合、2台目を「192.168.1.202」、3台目を「192.168.1.203」、4台目を「192.168.1.204」の様に設定してください。

■その他のコンピュータまたはOS

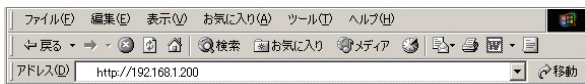
ご利用のコンピュータまたはOSのマニュアル及びドキュメントを参照にして、ネットワークプロトコルをTCP/IPに設定してください。IPアドレスを「192.168.1.x」（xは1～199，201～254の任意の値)、サブネットマスクに「255.255.255.0」に設定してください。

4.WEBブラウザからの設定

1 WEB設定画面の表示

本製品はWEBベースの設定画面が用意されています。本製品をご使用になる際は、必ずWEB設定画面から設定をおこなう必要があります。

付属のLANケーブルで本製品をコンピュータのLANポートに接続します。コンピュータが有線LANに接続されている場合は、一時的にLANケーブルをはずしてから接続します。

1.コンピュータのWEBブラウザを起動します。
2.WEBブラウザのアドレス欄に「http://192.168.1.200」
（本製品のデフォルトIPアドレス）を入力し、Enterキーを押します。

注意

●ご使用のコンピュータのIPアドレスは、本製品のアドレスと同一セグメントである必要があります。詳しくは、「付録C トラブルシューティング」Q1 本製品をWEBブラウザからアクセスできない。→ A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。をご覧ください。

2 WEB設定画面のトップページ

本製品のトップページが表示されます。トップページから以下のオプションを選択することができます。

・イメージの表示 ActiveX モード
・イメージの表示 Java モード
・システム管理

3 システム管理

本製品の設定をおこないますので、「システム管理」をクリックします。

「システム管理」のページが表示され、上部から各設定項目が選択できるようになります。

・システム
・イメージ
・ユーザー
・時刻
・アップロード
・メール
・情報
・管理

3-1 システム

上部のメニューから「システム」を選びます。
「システム」の設定画面から本製品の基本設定をおこないます。

PCi

システム　イメージ　ユーザー　時刻　アップロード　メール　情報　管理　Home

システム

デバイス名　CS-W01B-06-00-82

設置場所

管理者
管理者 ID
管理者パスワード
パスワードの確認

IPアドレス設定
◉ 固定設定
IPアドレス　192.168.1.200
サブネットマスク　255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ　0.0.0.0
○ IPアドレスを自動的に取得

DNS IPアドレス
1. 0.0.0.0
2. 0.0.0.0

無線設定
通信モード　◉ インフラストラクチャ　○ アドホック
ネットワーク名　(ESS-ID)
チャンネル　11
WEP暗号化　◉ 無効　○ 64 bit　○ 128 bit
WEPキー　◉ ASCII　○ HEX
WEPキーの確認

LED　○通常　◉オフ　○ダミー

ActiveX 読込先

セカンドポート使用　○有効　◉無効
Webサーバ　0　(デフォルト 80)

保存　キャンセル

■　デバイス名

本製品の名称です。最大32文字の半角英数字が入力可能です。
デフォルトはCS-W01B-XXXXXX(XXXXXXはMACアドレスの後半6桁)です。

■　設置場所

本製品が設置されている場所を指定します。

■　管理者

本製品の設定項目にアクセスできる管理者の「管理者ID」と「管理者パスワード」を設定します。確認のためパスワードを「パスワード確認」に再入力してください。

デバイス名　CS-W01B
設置場所
管理者　管理者 ID
管理者パスワード
パスワードの確認

管理者IDは最大12文字の半角英数字、パスワードは最大8文字の半角英数字が入力可能です。

注意

●デフォルトでは管理者IDとパスワードが設定されていませんが（空欄となっています)、安全のため必ずこれらの設定をおこなうことを推奨します。

■　IPアドレス設定

ネットワーク環境に合わせて「固定IP設定」、あるいは「IPアドレスを自動的に取得」のオプションを選びます。

注意

●本製品のアクセスが成功しないときは、IPアドレスの設定い間違いがある可能性があります。設定が正しいかIPアドレスが他の機器に使用されていないか必ずご確認ください。

1.固定IP設定

手動でIPアドレスの設定をおこなうときはこのオプションを選びます。デフォルトの設定値は以下のとおりです。

「IPアドレス」	192.168.1.200
「サブネットマスク」	255.255.255.0
「デフォルトゲートウェイ」	0.0.0.0

2.IPアドレスを自動的に取得

○ IPアドレスを自動的に取得

動的にIPアドレスを取得する場合はこのオプションを選びます。本製品は起動するたびにDHCPサーバからIPアドレスが自動で割り当てられます。

■　DNS IPアドレス

1. 0.0.0.0
2. 0.0.0.0

ご使用のネットワークにDNSサーバがあるときやプロバイダから指定されたDNSサーバがあるときは、DNSサーバのIPアドレスを1つ以上入力してください。

無線LANネットワークカメラとして使用する場合は無線設定をおこないます。

■　無線設定

「通信モード」
本製品の無線LANの接続方法を設定します。

・インフラストラクチャ
アクセスポイント経由での通信(デフォルト)

・アドホック
アクセスポイント使わない通信

「ESSID」
無線ネットワーク(ESSID)設定します。ESSIDは最大で32文字の半角英数字で入力できます。スペースや記号は使えません。
ESSIDを設定することで本製品は任意のアクセスポイントとのみ接続できるようになります。
ESSIDを空欄に設定した場合は（デフォルト設定)、本製品がアクセスポイントのESSIDに関係なく、一番電波状態のよいアクセスポイントと接続します。

「チャンネル」
使用するチャンネルを設定します。チャンネルは1～14から設定します。デフォルト設定は「11」チャンネルです。インフラストラクチャモードでは、本製品とアクセスポイントとの間、アドホックモードでは本製品とコンピュータとの間の通信に使用されるチャンネルです。

「WEP暗号化」
無線ネットワーク上で安全にデータをやり取りするためにWEP機能（IEEE802.11ｂ準拠）を有効にすることを推奨します。標準の64bitと強度の高い128bitの暗号化を選択することができます。

「WEPキー」
ASCIIあるいはHEX形式を選び、WEPキーを入力します。

・ASCII形式
大文字、小文字の半角英数字が入力可能です。64bitWEPを使用するときは5文字の半角英数字を入力します。128bitWEPの場合は13文字の半角英数字を入力します。

・HEX形式
16進数（0～9の数字、A～Fの文字）が入力可能です。64bitWEPを使用するときは10桁の16進数を入力します。128bitWEPを使用するときは26桁の16進数を入力します。

確認のため「WEPキーの確認」に同じWEPキーを再入力してください。

WEPキーは、本製品と接続する無線機器に共通のキーを設定しなければなりません。

注意

●デフォルトではWEP暗号化が無効です。安全のため必ず暗号化を有効にし、WEPキーの設定をおこなうことを推奨します。また、WEPキーの設定に間違いがあると通信ができなくなりますのでご注意ください。

■ LED

LED ○通常 ◉オフ ○ダミー

LEDの点灯方式を設定することができます。この設定は、監視機能がオンのときに特に便利です。

「通常」
通常の点灯方式です。
・Pwr LEDが青色に点灯します。
・Lnk LEDが橙色に点灯します。無線機能が有効なときに点滅します。

「オフ」
監視機能が使用中でも、LEDが点灯しません。
・Pwr LEDが消灯します。
・Lnk LEDが消灯します。

「ダミー」
監視機能はオフのときでも、LEDが点灯します。
・Pwr LEDが青色に点灯します。
・Lnk LEDがランダムに点灯します。

デフォルトの設定は「通常」です。変更された設定は約1分後に有効になります。

■　ActiveXの読込先

ActiveX 読込先	

ActiveXが格納されている場所を指定します。ActiveXのインストールについては、付録Fをご参照ください。

■　セカンドポート使用

セカンドポート使用	○有効 ◉無効
	Webサーバ 0 (デフォルト 80)
	保存 キャンセル

2台以上のネットワークカメラを使用するときにセカンドポートを指定します。

「有効」を選び、以下の例に従って設定します。

例）　CS-W01B 2台目
IPアドレス：192.168.1.201
WEBサーバ：81

　CS-W01B 3台目
IPアドレス：192.168.1.202
WEBサーバ：82

例の通り、ネットワークカメラを追加するときに「WEBサーバ」のポート番号に1を足して入力します。以下は他の例を示します。

CS-W01B 4台目:IP 192.168.1.203 WEBサーバ 83
CS-W01B 5台目:IP 192.168.1.204 WEBサーバ 84

次にご使用のDSLゲートウェイ(IPアドレス変換機能を搭載したルータなどが必要)を設定します。

ゲートウェイの設定は、ゲートウェイの説明書にしたがっておこなってください。

注意
●ゲートウェイは、固定グローバルIPアドレスが割り当てられなければなりません。

設定が終わったら入力内容を確認し、間違いがなければ「保存」をクリックします。

3-2 イメージ

上部のメニューから「イメージ」を選びます。
「イメージ」の設定画面から本製品で撮影された映像の設定をおこないます。

■ ビデオ解像度

320x240 、あるいは 640x480の解像度を選びます。

■ 圧縮レート

「最低」から「最高」まで5段階から選ぶことができます。
圧縮レートが高いほど録画のファイルサイズは小さくなりますが、画質は低くなります。
デフォルトの設定は「標準」です。

■ フレーム速度

フレームの転送速度を選びます。デフォルトの「自動」
設定では最適な速度を得られます。

■　明るさ

映像の明るさを設定します。デフォルトの設定は64です。

■　コントラスト

映像のコントラストを設定します。デフォルトの設定は64
です。

■　彩度

映像の彩度を設定します。デフォルトの設定は64です。

■　照明の周波数

50Hz、または60Hzを設定します。

設定が終わったら設定内容を確認し、「保存」をクリックします。

3-3 ユーザー

上部のメニューから「ユーザー」を選びます。
「ユーザー」の設定画面では、本製品をリモートで監視できるユーザーの設定をおこないます。

■　ユーザーの追加

「ユーザー名」
最大12文字の半角英数字を入力します。

「パスワード」
最大8文字の半角英数字を入力します。

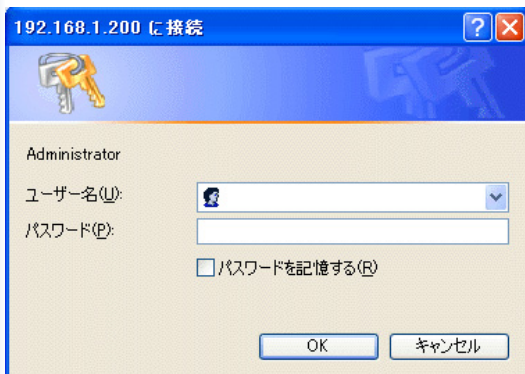
「イメージをアップロード」
有効／無効を選び、ユーザーが映像をアップロードする権利を指定します。

最後に「追加」ボタンをクリックします。
ユーザーは64まで追加可能です。

■　ユーザーの削除

削除したいユーザー名を選び、「削除」ボタンをクリックします。

注意

●ユーザーの設定をしたら、本製品にアクセスするたびに以下のログインダイアログボックスが表示されます。正しいユーザー名とパスワードを入力したユーザーのみアクセスすることができます。

3-4 時刻

上部のメニューから「時刻」を選びます。
「時刻」の設定画面では、本製品の内蔵時計を設定します。

■　時刻

1.タイムサーバ使用

タイムサーバと同期させる場合はこのオプションを選びます。同期は10分ごとにおこなわれます。

「IPアドレス」

タイムサーバのIPアドレスを入力します。デフォルトのアドレスは「133.100.9.2」です。

「プロトコル」

NTPまたはTimeプロトコルを選びます。デフォルトの設定はNTPです。

「タイムゾーン」
タイムゾーンを指定します。デフォルトでは日本のタイムゾーン「GMT+9」が選択されています。
その他のタイムゾーンについては付録Eをご参照ください。

2.手動設定
このオプションを選び、「日付」と「時間」を手入力します。

注意
●「手動設定」では、本製品を一度電源オフにした場合は時刻を設定し直す必要があります。

設定が終わったら設定内容を確認し、「保存」をクリックします。

3-5 アップロード

上部のメニューから「アップロード」を選びます。
「アップロード」の設定画面では、映像をFTPサーバへアップロードするために必要な情報を設定します。

■　FTPサーバ

「ホストアドレス」

FTPサーバのIPアドレスです。

「ポート番号」

FTPサーバのポート番号です。標準はポート21が使用されます。（デフォルト設定）

「ユーザー名」

FTPサーバにログインするためのユーザー名を入力します。

「パスワード」
FTPサーバにログインするためのパスワードを入力します。

「ディレクトリパス」
アップロードした映像が保存される既存のファイル名を入力します。

「パッシブモード」
ご利用のFTPサーバでパッシブモードが有効な場合は「有効」を選びます。デフォルトの設定は「無効」です。

■　スケジュール

「イメージをFTPサーバへアップロード」をオンにします。

「常時」
随時のFTPサーバへのアップロードを許可する場合はこのオプションを選びます。

「スケジュール」
特定のスケジュールをもとにFTPサーバへのアップロードをおこないたい場合はこのオプションを選びます。「曜日」と「時間帯」を指定します。

「イメージ速度」
1秒当たりのフレーム数（1/2/3/自動が選択可能）、あるいは1フレーム当たりの秒数を設定します。

「ベースファイル名」
映像が保存されるファイル名を入力します。

「ファイル」
複数の映像をアップロードした場合に、保存方式を指定します。
上書き保存、日/時 付加、または連番 付加を選択できます。

■　手動操作
このオプションを選択した場合は、「イメージの表示Javaモード」/「イメージの表示ActiveXモード」の画面で「イメージをアップロード」の「オン」をクリックすると映像のアップロードが始まります。

「イメージをFTPサーバへアップロード」をオンにします。

「ベースファイル名」
映像が保存されるファイル名を入力します。

「ファイル」
複数の映像をアップロードした場合に、保存方式を指定します。
上書き保存、日/時 付加、または連番 付加を選択できます。

設定が終わったら設定内容を確認し、「保存」をクリックします。

注意
●ユーザー 登録のときに「イメージをアップロード」の権利を与えられたユーザーのみアップロードできます。

3-6 メール

上部のメニューから「メール」を選びます。
「メール」の設定画面では、映像をメールで送信するために必要な情報を設定します。

■　メールアカウント

「SMTPサーバアドレス」

SMTPはメールを送信するためのプロトコルです。このではメールサーバのアドレスを入力します。

「送信メールアドレス」

送信元のメールアドレスを入力します。

「受信メールアドレス」

宛先のメールアドレスを入力します。

「ユーザー名」
ユーザーアカウントに登録されたユーザー名です。

「パスワード」
ユーザーアカウントに登録されたパスワードを入力します。

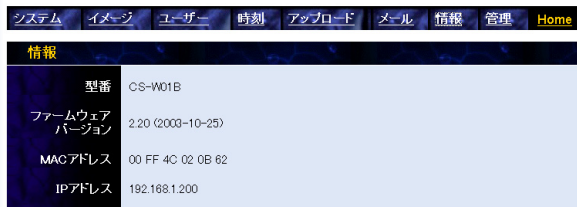
■　スケジュール
「イメージをメール送信する」をオンにします。

「常時」
随時のメール送信を許可する場合はこのオプションを選びます。

「スケジュール」
特定のスケジュールをもとにメール送信をおこないたい場合はこのオプションを選びます。「曜日」と「時間帯」を指定します。
「間隔」にはメール送信がおこなわれる時間の間隔を指定します。
例えば「30」に設定すれば、メールが30秒おきに送信されます。

■　手動操作
このオプションを選択した場合は、「イメージの表示Javaモード」/「イメージの表示ActiveXモード」の画面で「イメージをメール送信」の「オン」ボタンをクリックすると映像のメール送信がおこなわれます。

「イメージをメール送信する」をオンにします。「間隔」にはメール送信がおこなわれる時間の間隔を指定します。例えば「30」に設定すれば、メールが30秒おきに送信されます。

設定が終わったら設定内容を確認し、「保存」をクリックします。

注意
●ユーザー登録のときに「イメージをアップロード」の権利を与えられたユーザーのみメール送信できます。

3-7 情報

上部のメニューから「情報」を選びます。
「情報」の設定画面では、本製品の基本情報が表示されます。

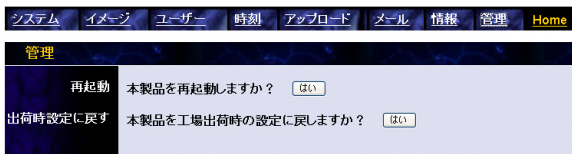
「型番」
本製品の型番です。

「ファームウェアバージョン」
現在のファームウェアバージョンです。

「MACアドレス」
本製品のMACアドレス(物理的アドレス)です。

「IPアドレス」
現在設定されている本製品のIPアドレスです。

3-8 管理

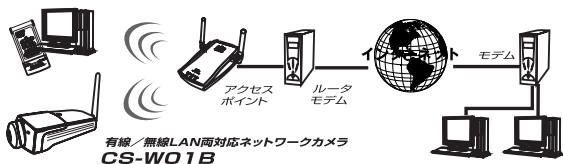
上部のメニューから「管理」を選びます。
「管理」の設定画面では、本製品の再起動および工場出荷時の設定へのリセットをおこないます。

「再起動」
本製品を再起動します。その際、各種設定は変更されません。
再起動をしたいときは「はい」をクリックします。

「出荷時設定に戻す」
本製品の設定を工場出荷時の状態に戻します。初期化をしたいときは「はい」をクリックします。

注意

● *「出荷時設定に戻す」機能を実行すると変更した全ての設定は失われますのでご注意ください。*

本製品の設定が終わったら上部の「HOME」をクリックし、CS-W01Bネットワークカメラのトップページに戻ります。
「イメージの表示 - ActiveXモード」、または「イメージの表示 - Javaモード」を選びます。

WEB設定画面上の各種設定が終わったら、本製品を目的の場所に設置します。直接本製品とコンピュータを接続したり、LANへの導入やネットワークへの接続することができます。また、設置環境に応じて、本製品のピンの調整、画質の調整をおこないます。ご自分の用途に合った使用方法を選び、本製品の特徴とあらゆる機能を生かしてください。

4 イメージの表示 ActiveX モード

本製品のトップページから「イメージの表示ActiveXモード」をクリックします。

注意 ●
ActiveXのインストールについては付録Fをご参照ください。

「デバイス名」
WEB設定画面の「システム」で入力したデバイス名です。

「設置場所」
WEB設定画面の「システム」で入力した設置場所です。

「時刻」
WEB設定画面の「時刻」で指定したタイムサーバから得られた、または手動で指定した日付／時間です。

「イメージをアップロード」
「オン」／「オフ」をクリックし、FTPサーバへの映像のアップロードを開始／終了します。

「イメージをメール送信」
「オン」／「オフ」をクリックし、メールでの映像の送信を開始／終了します。

注意
- ***「イメージをアップロード」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「アップロード」でおこないます。***
- ***「イメージをメール送信」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「メール」でおこないます。***

5 イメージの表示 Javaモード

本製品のトップページから「イメージの表示Javaモード」をクリックします。

「デバイス名」
WEB設定画面の「システム」で入力したデバイス名です。

「設置場所」
WEB設定画面の「システム」で入力した設置場所です。

「時刻」
WEB設定画面の「時刻」で指定したタイムサーバから得られた、または手動で指定した日付／時間です。

「イメージをアップロード」
「オン」／「オフ」をクリックし、FTPサーバへの映像のアップロードを開始／終了します。

「イメージをメール送信」
「オン」／「オフ」をクリックし、メールでの映像の送信を開始／終了します。

注意

- ***「イメージをアップロード」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「アップロード」でおこないます。***
- ***「イメージをメール送信」機能の設定は、管理者が「システム管理」－「メール」でおこないます。***

5. ネットワークカメラの活用

本製品はイーサネットに直接接続できるオール・イン・ワン型で、IEEE 802.11b準拠の無線接続にも対応しています。内蔵CPUによる独立したシステムを持つ本製品はWEBベースで高品位な映像の送信および、モニターを可能にします。またインターネットを経由し、コンピュータからアクセス、管理することもできます。本製品を、CS Series Viewer管理ユーティリティと一緒に使用することで、簡単にリアルタイムな映像を見ることができます。

1 実用例

●WEBブラウザを使用し、ご自宅から幼稚園、保育園のお子様の様子を見ることができます。

●病院や老人ホーム、一人暮らしの方でも、ご家族が自宅から様子を見ることができ安心です。

●公共の場で、出入口、ロビーに本製品を設置し、混み具合、接客対応など監視できます。

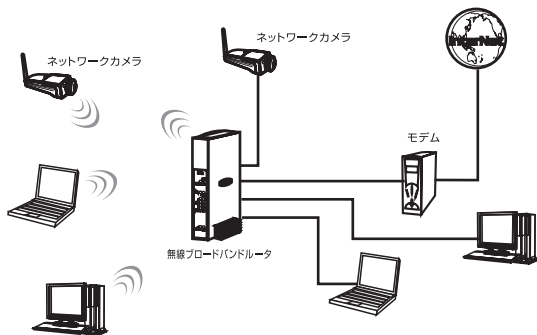
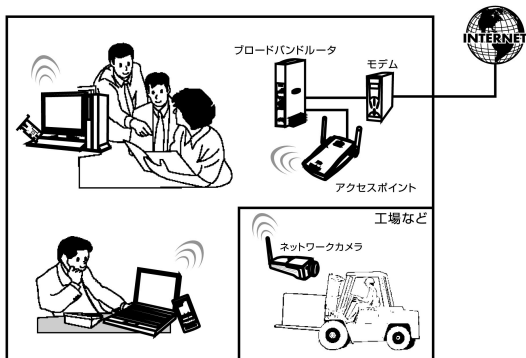
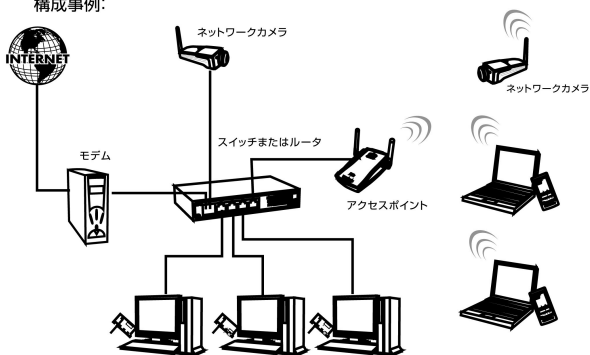
●検証ルームなどで、異常の場合に早期対応、事故防止に役立ちます。

●マンションのエントランスに設置し、住居者の安全性を守ることができます。

●CS Series Viewerを使用すれば、ビデオ映像の静止画を取り出すことができます。

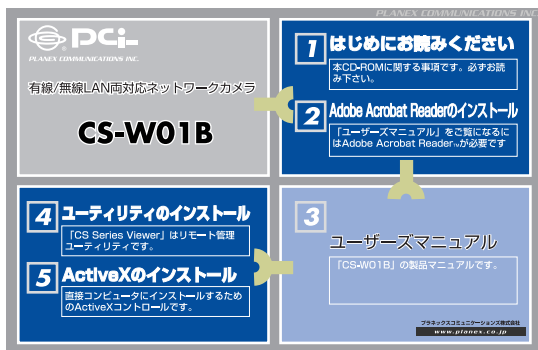
●動態検知機能を使用すれば、カメラ映像が被写体の動きを検知したときのアラーム警告とその際に撮影された映像をメール送信することができます。

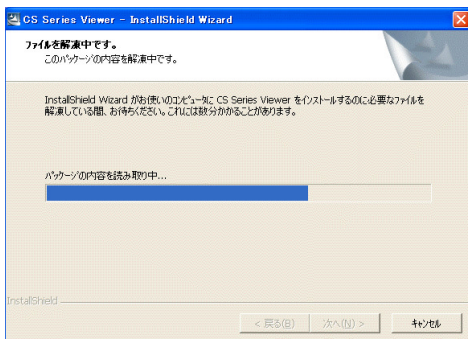
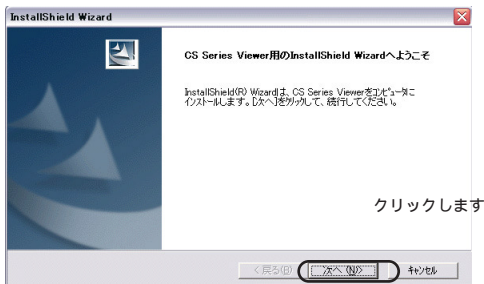
2 ご家庭での利用例

構成事例:

3 SOHOでの利用例

構成事例:

6. CS SERIES VIEWER インストールと操作

1 CS Series Viewerのインストール

管理用ソフトウェアCS Series Viewerを使用すると、本製品をリモートで管理することができます。CS Series Viewerのインストールは以下の手順でおこないます。

1.付属のManual&UtilityCD-ROMをディスクドライブに挿入します。インストーラが自動的に起動し、メニュー画面が表示されます。「ユーティリティのインストール」をクリックすると「ファイルのダウンロード」が表示されます。「保存」をクリックし「CS Series Viewer Setup.exe.」をデスクトップに保存します。

注意
●画面が立ち上がらない場合はCD-ROMのフォルダから「CS Series Viewer Setup.exe」をダブルクリックしてください。

2.デスクトップの「CS Series Viewer Setup.exe.」をクリックするとインストールの準備が開始します。

3. 以下の画面が表示されます.「次へ」をクリックします。

4.「使用許諾契約書」が表示されます。内容を確認し、「はい」をクリックします。

5. インストール先を指定します。「次へ」をクリックします。

InstallShield Wizard

インストール先の選択

セットアップがファイルをインストールするフォルダを選択してください。

セットアップは、次のフォルダに CS Series Viewer をインストールします。

このフォルダへのインストールは、[次へ]ボタンをクリックします。

別のフォルダへインストールする場合は、[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択してください。

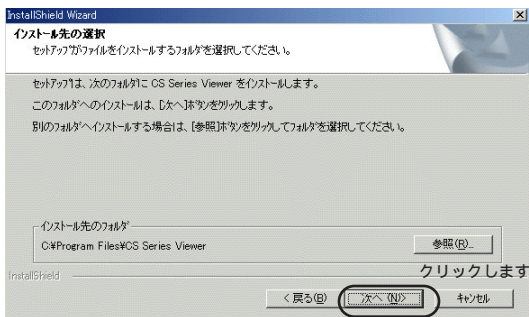
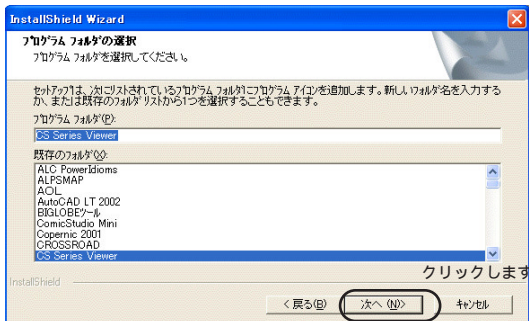
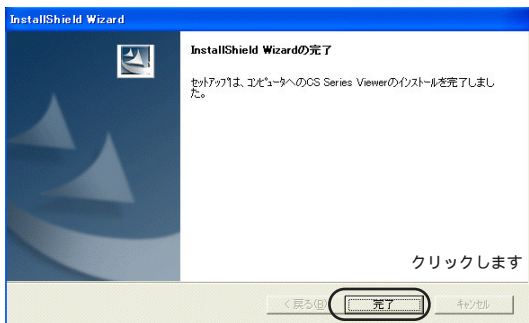
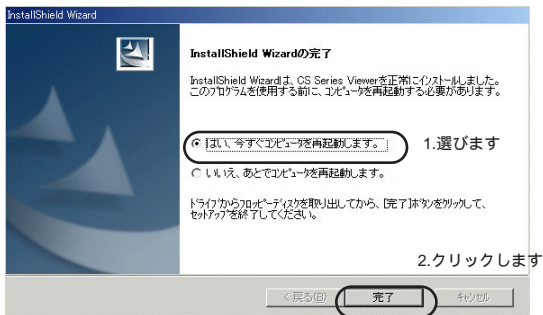
インストール先のフォルダ

C:¥Program Files¥CS Series Viewer

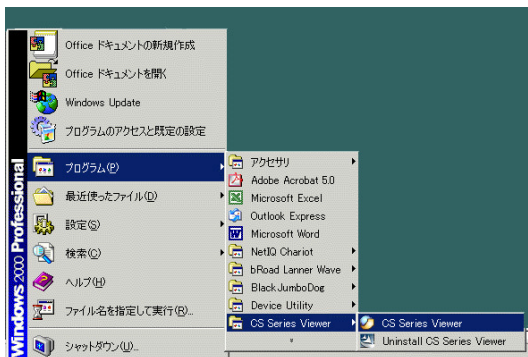
参照(R)...

クリックします

InstallShield

< 戻る(B)　次へ(N) >　キャンセル

6. 「プログラムフォルダの選択」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7. 「インストールウィザード完了」が表示されます。「完了」をクリックします。

8. コンピュータを再起動するかどうか聞かれたら、「今すぐコンピュータを再起動します」オプションを選び、「完了」をクリックします。

9.コンピュータを再起動します。これでCS Series Viewer のインストールは終了です。

2 CS Series Viewerの起動

1.「スタート」メニューから「プログラム」→「CS Series Viewer」をクリックします。

2.CS Series Viewerが起動し、以下の画面が表示されます。

3 CS Series Viewerの基本操作

CS Series Viewerは本製品を総合的に管理できるマネージメントソフトウェアです。CS Series Viewerを使うことで、映像のプレビュー、システム設定とカメラの設定、カメラの検索などができます。

CS Series Viewerは使いやすさを重視したユーザーフレンドリーなインターフェースが特徴です。以下に各操作ボタンについて説明します。

■ CS Series Viewerのコントロールパネル

最小化

コントロールパネルを最小化します。

閉じる

コントロールパネルを閉じます。

データ再生

録画されたデータのファイルを選択し、再生します。

スキャン

LAN内のネットワークカメラをスキャンし、一覧を表示します。

マルチウィンドウ

複数の映像画面を同時に単画面で表示します。

ヘルプ

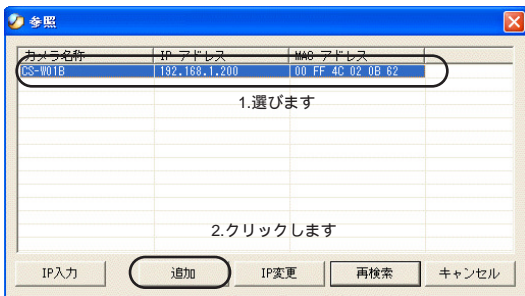
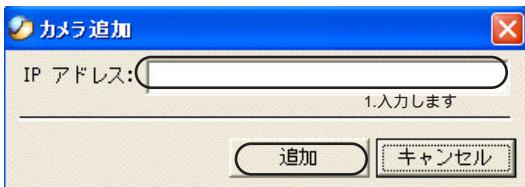
「バージョン情報」
CS Series Viewerの情報を表示します。

「ヘルプ」
本製品のユーザーズマニュアルを表示します。

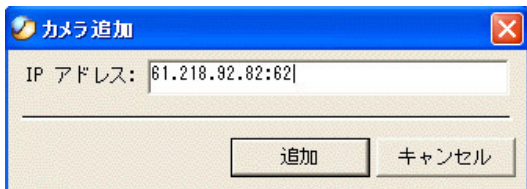
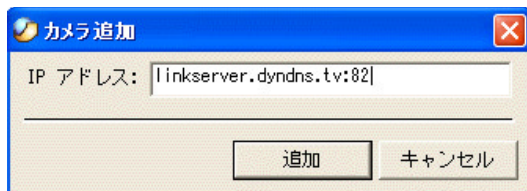
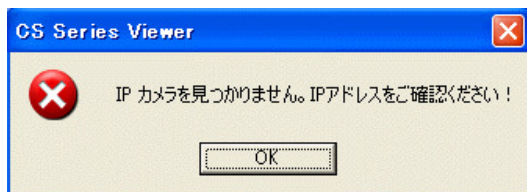
3-1 ネットワークカメラの追加

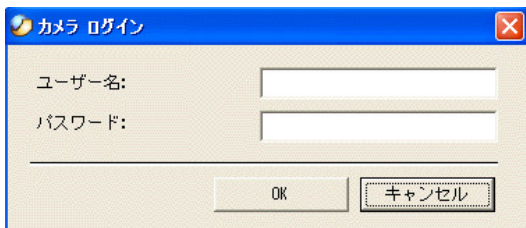
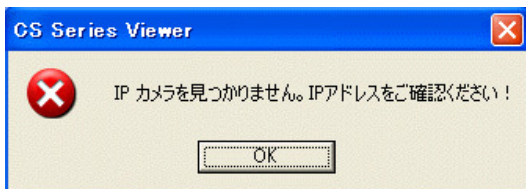
カメラの追加

新規にネットワークカメラを追加したいときは、「カメラの追加」ボタンをクリックします。

1.「参照」が表示されます。
追加したいカメラを選び、「追加」をクリックします。

2.また、「IP入力」をクリックし、表示される「カメラ追加」ダイアログボックスにカメラのIPアドレスを入力してカメラを追加します。

注意

●1.インターネット経由でカメラを追加する場合はグローバルIPアドレスを入力する必要があります。

●2.カメラは異なるネットワークにインストールされてあり、かつカメラの「セカンドポート使用」機能とゲートウェイの「ポートフォワーディング」機能が有効な場合は、ゲートウェイのIPアドレスとともにポート番号を入力する必要があります。

3. また、ゲートウェイのIPアドレスをURLに置き換えることができます。

4. 入力したIPアドレスが正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。

5.管理者によりWEB設定画面で「ユーザー名」と「パスワード」の登録がおこなわれた場合は、「カメラログイン」ダイアログボックスが表示されます。正しい「ユーザー名」と「パスワード」を入力しない限り、カメラの追加はできません。

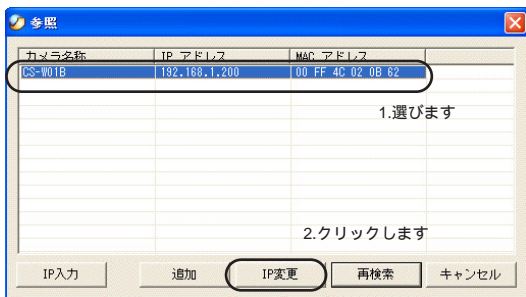
カメラ ログイン
ユーザー名:
パスワード:
OK　キャンセル

6.カメラを選択しないで「追加」をクリックした場合は以下のエラーメッセージが表示されます。

注意

●一度に1台のカメラのみ追加できます。

7.カメラを追加したら、コントロールパネルにカメラの操作用に「カメラのIP設定」、「接続/切断」、「カメラの削除」、「情報」の4つのボタンが表示されます。他にも「カメラの設定」および「動作検知」、「スケジュール設定」、「手動設定」ボタンをが表示されます。

3-2 ネットワークカメラのIPアドレス変更

カメラのIPアドレス設定

1.ネットワークカメラのIPアドレスを変更したいときは「カメラのIPアドレス設定」ボタンをクリックします。以下のダイアログボックスが表示されます。IPアドレスを変更したいカメラを選び、「IP変更」をクリックします。

2.「アドレス変更」が表示されます。「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力して固定設定か、DHCPを選びます。「OK」をクリックます。

注意

● 「カメラのIP設定」には管理者のみアクセスできます。

3-3 ネットワークカメラの接続 / 切断

ネットワークカメラの接続

カメラを追加した時点で映像画面が表示され、オンライン状態になります。「接続/切断」をクリックすると、カメラのオンライン/オフライン状態を切り替えることができます。

カメラ 1　CS-W01B

192.168.1.200　REC ON-LINE

映像画面では以下のボタンが表示されています。

最小化

ネットワークカメラの映像画面を最小化します。

最大化

ネットワークカメラの映像画面を最大化します。

閉じる

ネットワークカメラの映像画面を閉じます。

最前面に表示

ネットワークカメラの映像画面を常に最前面に表示します。「最前面に表示」を解除するには、再度このボタンをクリックします。

コントロールパネル復元

コントロールパネルを閉じた場合に、再度開いて表示します。

色の編集

映像の色を編集します。「色の編集」を解除するには、再度このボタンをクリックします。

イベントリスト

ネットワークカメラのイベントリストを表示します。
リストを閉じるには、再度このボタンをクリックします。

スナップショット

ネットワークカメラの映像をスナップショットし、保存します。

画像回転

ネットワークカメラの映像を回転させます。

ネットワークカメラの切断

オンライン状態で再度「接続/切断」をクリックするとオフライン状態に切り替わり、ネットワークカメラを切断します。

カメラ 1　CS-W01B

192.168.1.200　OFF-LINE

3-4 ネットワークカメラの削除

ネットワークカメラの削除

1.コントロールパネルから削除したいカメラを選び、「カメラの削除」をクリックします。

2.カメラがコントロールパネルから削除されます。

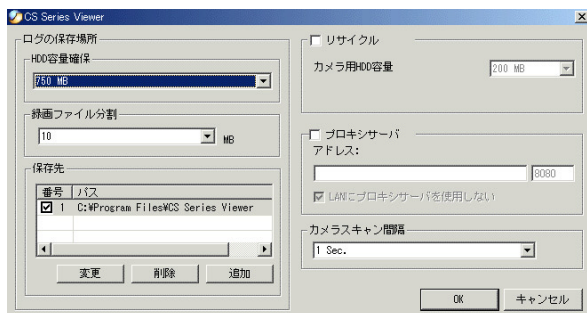
3-5 情報

情報

本製品の型番、ハードウェア/ファームウェアバージョンなどの情報を表示します。

3-6 システムパラメータ設定

システム設定

コントロールパネルの「システム設定」ボタンをクリックすると以下の設定画面が表示されます。

■　ログの保存場所

「HDD 容量確保」
ハードディスク容量を確保します。500MBから1000 MBまでのメモリサイズを割り当てることができます。

「録画ファイルの分割」
映像の保存先ファルのサイズを指定することができます。ファイルが設定されたサイズに達すると、映像が自動的に次のファイルに録画されます。

設定可能なファイルのサイズは10 MBから 50 MBまでです。デフォルトは10MBです。

■　保存先

「追加」をクリックし、映像の保存先のパスを指定します。指定の場所にカメラ名称のフォルダが作成され、録画された映像が保存されます。保存場所は16のパスまで指定できます。

■　リサイクル

このオプションを有効にし、映像容量の最大値を設定することができます。設定した容量に達すると、古いデータの自動削除がおこなわれます。それによって領域の再利用が可能になります。
容量は200 MBから50000 MB（50GB）まで指定できます。

■　プロキシサーバ

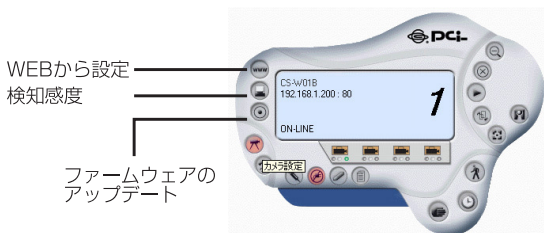
プロキシサーバを使用する場合はこのオプションを選びます。
LANにおいては、プロキシサーバを使用したくないときに「LANにプロキシサーバを使用しない」オプションをオンにします。

■　カメラスキャン間隔

設定した間隔ごとに、各カメラをフル画面で表示させることができます。
設定可能範囲は1秒から20秒です。

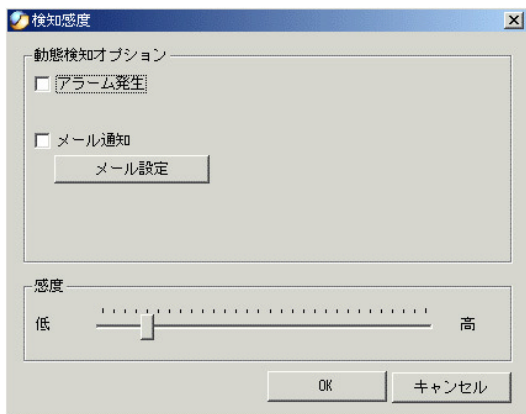
3-7 ネットワークカメラの設定

カメラ設定

コントロールパネルの「カメラ設定」ボタンをクリックすると、カメラ設定用に「WEBから設定」、「動態検知」、「ファームウェアアップデート」の3つのボタンが表示されます。

WEBから設定

コントロールパネルの「WEB」から設定をクリックすると本製品のWEB設定画面が起動します。詳しくは第4章「WEBブラウザからの設定」をご参照ください。

検知感度

「動態検知オプション」や「検知感動」を設定し、「動態検知」機能と組み合わせて使用することができます。

■　動態検知オプション

「アラーム発生」

　このオプションを有効すると、映像の動きを検知したときにビープアラームが鳴ります。

「メール通知」

このオプションを有効にすると、映像の動きを検知したときにメールにて通知が送られます。メールの設定は、以下の手順でおこないます。

「メール設定」ボタンをクリックします。「メール設定」ウィンドウが表示されますので、各項目を入力します。

・「メールサーバ」

メールサーバアドレスを入力します。

・「送信元」

送信元のメールアドレスを入力します。

・「送信先」

宛先のメールアドレスを入力します。

・「件名」

メールの件名を入力します。

・「ユーザー名」

ユーザアカウントに登録されたユーザー名を入力します。

・「パスワード」

ユーザーのアカウントに登録されたパスワードを入力します。

・「間隔」

メール送信の間隔を秒単位で設定します。

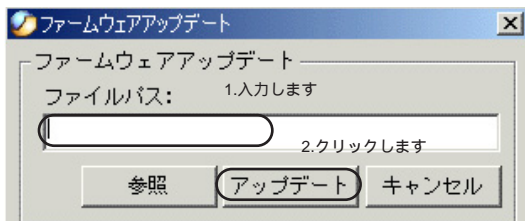
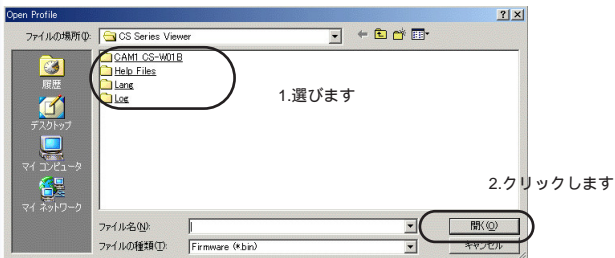
■　感度

動態検知の感度を設定します。

ファームウェアアップデート

本製品のファームウェアのアップデートをおこなうことができます。

1.事前に弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、ハードディスクに保存します。
http://www.planex.co.jp/support/download/

2.コントロールパネルの「ファームウェアアップデート」をクリックします。「ファームウェアアップデート」が表示されます。表示されるダイアログボックスでダウンロードしたファームウェアファイルを指定し「アップデート」をクリックします。ファームウェアのアップデートが開始されます。

「参照」をクリックしてファイルを指定することも可能です。

3.ファームウェアアップデートが終了したら「カメラ情報」ボタンをクリックし、表示されるファームウェアバージョン(F/W Ver.)が最新のものになっていることを確認します。

3-8 録画の設定

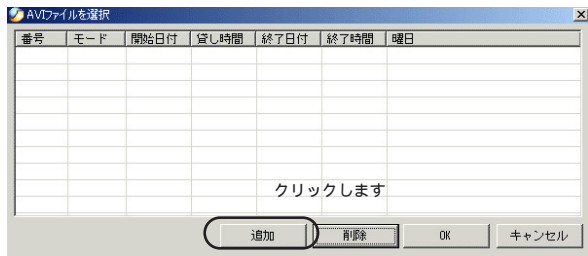
録画の開始は、「動態検知」、「スケジュール設定」、「手動設定」の３つの方法によっておこなうことができます。

■動態検知

カメラ映像が被写体の動きを検知し、録画を開始します。「検知感度」機能をあわせて利用することによって、メール送信アラームやビープアラームを設定したり、感度のレベルを調整することができます。

■スケジュールの設定

録画はあらかじめ設定した曜日・時間帯に開始、終了します。
コントロールパネルの「スケジュール設定」をクリックします。

ウィンドウが表示されますので「追加」をクリックします。

録画の開始/終了の日付を指定できる「日付指定」オプションあるいは録画の開始/終了の時間と曜日を設定できる「曜日指定」オプションを選びます。設定が完了したら、「OK」をクリックします。

■手動設定

録画の開始と終了はボタンをクリックして手動でおこないます。

付録A. ネットワークカメラQ&A

1.ネットワークカメラの特徴

Q ネットワークカメラって、何ですか？本製品の特徴は…？

A　ネットワークカメラはイーサネット(10BASE-T)、ファストイーサネット(100BASE-TX) またIEEE802.11d規格の無線ネットワークに直接接続できる、インターネット対応型のカメラです。本製品は従来のコンピュータへ取り付けるWEBカメラとは異なり、内蔵CPUによる独立したシステムを使用し、高品質なビデオ映像を送信、モニターすることができます。本製品はコンピュータからインターネットを経由してリモートアクセス・コントロールできます。簡単なインストール手順と、WEBベースの設定画面は、様々な用途に対応でき、コストパフォーマンスに優れたビデオモニタリングが構築できます。

Q 最大何名まで同時に本製品にアクセスできますか？

A　最大64ユーザーまで同時にアクセスできます。しかし同時に多数のユーザーがログオンすると、転送速度などのパフォーマンスが低下します。

Q デジタル画像の圧縮にはどんな形式が使用されていますか？

**A 本製品の画像圧縮にはJPEG形式が用いられています。
JPEG形式は最も一般的な圧縮形式の一つで、様々なＷＥＢブラウザやアプリケーションで、特別なソフトのインストールなしに展開することが可能です。**

Q　本製品の無線転送距離はどのくらいですか？

A　一般的には室内で100m、屋外で300mです。しかし壁や天井、使用環境により異なる場合があります。

2.ネットワークカメラの設置

Q: 屋外での使用は可能ですか？

A　本製品は防水ではありません。屋外での使用には防水ケースの使用などの対策が必要ですが、屋外での使用自体おすすめはできません。

Q　どのようなLANケーブルが必要ですか？

A: 10 Base-T/100 Base-TX対応、カテゴリ5 UTPケーブルをお使いください。

Q　コンピュータに直結するWEBカメラとして利用はできますか？

A: いいえ、本製品はイーサネットへ接続するカメラです。コンピュータへ接続する際はネットワーク経由になります。

Q　本製品はプライベートIPアドレスのみを持っている場合に、ネットワークに接続できますか？

A　本製品はプライベートIPアドレスのみ使用する場合はLANで使用が可能です。

Q ファイアウォールのあるネットワークで使用できますか？

A:　ネットワークにファイアウォールが存在する場合、データ通信用にポート80が開いています。しかし本製品の映像データ送信にはデフォルトのポート8481も展開しなければなりません。したがって、本製品をこのような環境で使用する場合は、ポート8481を展開する必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

付録B.ping コマンド

特定のIPアドレスはアクセス可能かどうかがping というコマンドで確認することができます。

pingコマンドは、指定のIPアドレスにパケットを送信し、その応答によってアドレスに通信可能か調べることができます。また本製品が他のIPアドレスと重複していないかの確認にも使用します。

以下は、pingコマンドの使い方を説明します。

1.　WindowsのDOSウィンドウを開きます。

98/SE/Me：
「スタート」→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」

2000：
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

XP：
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」

2.　DOSウィンドウからpingコマンドを入力します。下記の例を参照下さい。

C:¥> ping 192.168.1.200　　　<Enter>

①キーボードから入力　　　　　②Enterキーを押す。

192.168.1.200は本製品のデフォルトIPアドレスです。

3.Pingコマンド入力後、下記のようなメッセージが表示されれば正常に動作しています。

Reply from 192.168.1.200

上記以外のメッセージが表示される場合は、IPアドレスに誤りがあるか、IPアドレスが重複している可能性がありますので、ネットワーク管理者にご相談下さい。

付録C. トラブルシューティング

Q　本製品をWEBブラウザからアクセスできない。

A1 IPアドレスの割り当てかたに問題があります。

本製品に割り当てられたIPアドレスがすでに他のデバイスに設定されています。本製品をネットワークから切断し、PINGコマンドを実行してください。
（付録Bをご参照ください）

A2 IPアドレスが異なるサブネット上に存在している可能性があります。

本製品には「192.168.1.200 」というIP アドレスが出荷時に設定されており、本製品にアクセスするにはコンピュータのIPアドレスも、先頭から３つ目までの数字グループが「192.168.1.**」というIP アドレスではなければなりません。
まず、pingコマンド（付録Bを参照）をおこなってみて下さい。
“ no response ” または同様な返信がある場合、不正常ですので、以下にしたがってIPアドレスを確認してください。

■Windows98SE/ME の場合
1.「スタート」→「ファイル名を指定して実行」を選び、「名前」→「WINIPCFG 」と入力し「OK 」をクリックします。

2.「IP 設定」というウインドウが開きますので「アダプタアドレス」の上をご使用のLAN カードに変更します。

3.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Windows2000/XP の場合
1.「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選びます。

2.キーの入力待ちになりましたら「IPCONFIG」と入力し、Enterキーをクリックします。

3.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Macintosh　8.x〜9.x の場合：
1.アップルメニューから「コントロールパネル」→「TCP/IP」を選びます。

2.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。(**には任意の数字が入ります)。

■Macintosh　Xの場合：
1.アップルメニューから「システム環境設定」→「ネットワーク」を選びます。

2.「IP アドレス」に「192.168.1.**」という数字が表示されることを確認します。（**には任意の数字が入ります）。

もし異なるIPアドレスである場合は、一時的にコンピュータのIPアドレスを「192.168.1.xxx」に変更します。
その後、本製品のIPアドレスをご使用のLANのアドレスと同じセグメントに変更し、最後にご使用のコンピュータのIPアドレスを元に戻してください。IPアドレスの変更方法は、ご使用のOSのヘルプをご参照ください。

A3 LANケーブルに問題があることも考えられます。

一度ケーブルを他のものと交換してみて下さい。また、本製品とコンピュータをクロスケーブルで直結してみてください。それでも問題が解決しないければ、本体の故障の可能性がありますので、販売店にお問い合わせ下さい。

Q Pwr LEDが点灯しないのですが。

A 電源に問題がる可能性があります。

付属のAC電源アダプタを使用していますか？また、コネクタはきちんと差し込まれていますか？

Q Lnk LEDが点灯しないのですが。

A1 LANケーブルに問題がある可能性があります。

LANケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
また、ケーブルを交換してみてください。

A2　本製品が接続されているハブやスイッチに問題がある可能性があります。

全ての機器の電源は入っていますか？LANケーブルが正しく接続されていますか？

A3　無線接続に問題がある可能性があります。

アドホックモードでは本製品とコンピュータのチャンネル番号、およびESSIDが同じであるか確認して下さい。
インフラストラクチャモードでは、本製品およびコンピュータのESSIDと、アクセスポイントのESSIDが同じである必要がありますので、確認して下さい。

Q　ローカルネットワーク上では使用できるのに、ネットワークの外部に出ると使用できなくなります。

A1　ファイアウォールが原因の可能性があります。

ネットワーク管理者にご相談下さい。

A2　デフォルトルーターの設定が原因の可能性があります。

ネットワーク管理者にご相談下さい。

Q　映像の縦方向に白い線が入るのですが。

A　CMOSセンサーの特性で、太陽光や強い電灯光がレンズはCMOSセンサーの故障の原因になりますので、日陰など直接光の当たらない場所にカメラを移設して下さい。

Q　映像がぼやけているのですが。

A1 ピントが合っていない可能性があります。

レンズ先端のフォーカスリングを回して、ピントの調節を行って下さい。

A2　Cマウントレンズのアダプタがないか、取り付けに問題があります。

付属のCSレンズを交換する際に、誤ってアダプタをつけずにCレンズを装着してしまった可能性があります。

Q　映像にノイズが多いのですが。

A1　撮影場所が暗い場合には、映像にノイズが発生します。

その場合は照明を使用するなど、明るさの改善が必要です。

A2　無線電波の干渉が考えられます。

本製品以外に無線機器が使用されていないか確認して下さい。

Q　映像の画質が悪いのですが。

A1　コンピュータのモニターの設定が悪い可能性があります。

プロパティを開き、65,000色以上、例えば16-bitなどを選択して下さい。

注意

●設定が256色以下では、映像が荒くなります。

A2　本製品の映像設定に問題がある可能性があります。

WEB設定画面から明るさ、コントラスト、その他の調整をおこなってみてください。

Q　WEBブラウザで映像が開けないのですが。

A　ActiveXが無効になっている可能性があります。

Internet Explorerを使用している場合は、インターネットオプションでActiveXが有効になっているか確認して下さい。また、映像を開くのにJava Appletを使用することが可能です。

付録D. ファームウェアアップデート

本製品のファームウェアアップデートは、CS Series Viewer管理ソフトウェアからおこないます。第5章「CS Series Viewerインストールと操作、ファームウェアアップデート」を参照ください。

付録E. タイムゾーン

(GMT-12:00) Eniwetok, Kwajalein
(GMT-11:00) Midway Island, Samoa
(GMT-10:00) Hawaii
(GMT-09:00) Alaska
(GMT-08:00) Pacific Time (US & Canada); Tijuana
(GMT-07:00) Arizona
(GMT-07:00) Mountain Time (US & Canada)
(GMT-06:00) Central Time (US & Canada)
(GMT-06:00) Mexico City, Tegucigalpa
(GMT-06:00) Saskatchewan
(GMT-05:00) Bogota, Lima, Quito
(GMT-05:00) Eastern Time (US & Canada)
(GMT-05:00) Indiana (East)
(GMT-04:00) Atlantic Time (Canada)
(GMT-04:00) Caracas, La Paz
(GMT-04:00) Santiago
(GMT-03:30) Newfoundland
(GMT-03:00) Brasilia
(GMT-03:00) Buenos Aires, Georgetown
(GMT-02:00) Mid-Atlantic
(GMT-01:00) Azores, Cape Verde Is.
(GMT) Casablanca, Monrovia
(GMT) Greenwich Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London
(GMT+01:00) Amsterdam, Berlin, Bern, Rome, Stockholm, Vienna
(GMT+01:00) Belgrade, Bratislava, Budapest, Ljubljana, Prague
(GMT+01:00) Brussels, Copenhagen, Madrid, Paris, Vilnius
(GMT+01:00) Sarajevo, Skopje, Sofija, Warsaw, Zagreb
(GMT+02:00) Athens, Istanbul, Minsk
(GMT+02:00) Bucharest
(GMT+02:00) Cairo
(GMT+02:00) Harare, Pretoria
(GMT+02:00) Helsinki, Riga, Tallinn
(GMT+02:00) Jerusalem
(GMT+03:00) Baghdad, Kuwait, Riyadh
(GMT+03:00) Moscow, St. Petersburg, Volgograd
(GMT+03:00) Nairobi
(GMT+03:30) Tehran
(GMT+04:00) Abu Dhabi, Muscat
(GMT+04:00) Baku, Tbilisi
(GMT+04:30) Kabul
(GMT+05:00) Ekaterinburg
(GMT+05:00) Islamabad, Karachi, Tashkent
(GMT+05:30) Bombay, Calcutta, Madras, New Delhi
(GMT+06:00) Astana, Almaty, Dhaka
(GMT+06:00) Colombo

[GMT+07:00] Bangkok, Hanoi, Jakarta
[GMT+08:00] Beijing, Chongqing, Hong Kong, Urumqi
[GMT+08:00] Perth
[GMT+08:00] Singapore
[GMT+08:00] Taipei
[GMT+09:00] Osaka, Sapporo, Tokyo
[GMT+09:00] Seoul
[GMT+09:00] Yakutsk
[GMT+09:30] Adelaide
[GMT+09:30] Darwin
[GMT+10:00] Brisbane
[GMT+10:00] Canberra, Melbourne, Sydney
[GMT+10:00] Guam, Port Moresby
[GMT+10:00] Hobart
[GMT+10:00] Vladivostok
[GMT+08:00] Singapore
[GMT+08:00] Taipei
[GMT+09:00] Osaka, Sapporo, Tokyo
[GMT+09:00] Seoul
[GMT+09:00] Yakutsk
[GMT+09:30] Adelaide
[GMT+09:30] Darwin
[GMT+10:00] Brisbane
[GMT+10:00] Canberra, Melbourne, Sydney
[GMT+10:00] Guam, Port Moresby
[GMT+10:00] Hobart
[GMT+10:00] Vladivostok
[GMT+11:00] Magadan, Solomon Is., New Caledonia
[GMT+12:00] Auckland, Wellington
[GMT+12:00] Fiji, Kamchatka, Marshall Is.

付録F.ActiveXのインストール

■　WEBサーバへのインストール

注意
●Internet Explorerをご使用の場合は、パブリックドメインのWEBサーバにActive Xコントロールをインストールすることを推奨します。WEBサーバは固定IPアドレスが割り当てられなければなりません。
Netscapeをご使用の場合は、Javaを使ってJavaモードで映像を表示してください。●ActiveXをインストールするには、WEBブラウザのセキュリティレベルを「低」にする必要がありますが、インストールが完了したらセキュリティを元のレベルに戻してください。

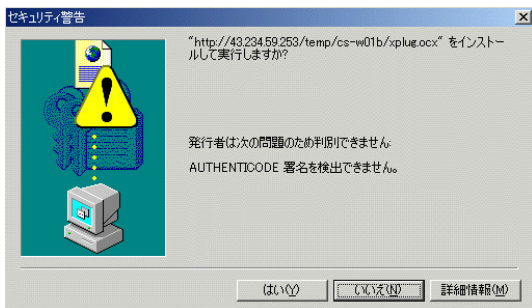
1.　付属のManual&Utility CD-ROM内のActiveXフォルダをクリックし、「xplug.ocx」ファイルをWEBサーバにコピーします。

2.　Webブラウザを起動し、本製品の設定画面を開きます。
トップページの「システム管理」をクリックします。「システム」タブをクリックし、「ActiveXの読込先」の欄にWebサーバのURLまたはIPアドレスを入力します。
(http://www.web server location.com/)

注意
●ご使用のネットワークにWEBサーバがない場合は、弊社のWEBサーバからActiveXコントロールをダウンロードすることができます。「ActiveXの読込先」の欄に次のアドレスを入力してください。
http://www.planex.co.jp/support/download/cs-w01b/

3.「保存」をクリックします。
以上の設定で、本製品の映像を表示するときにActiveXコントロールが自動でダウンロードされ、ActiveXモードでの表示が可能になります。

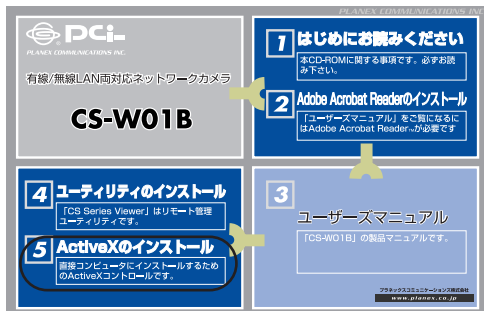
注意

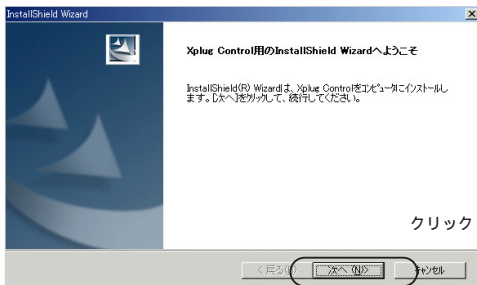
●コンピュータにActiveXコントロールをインストールするときに以下のような警告が表示されます。「はい」をクリックし、インストールを続行してください。

■　ローカルPCへのインストール

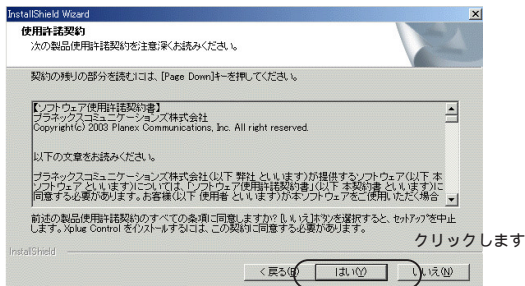
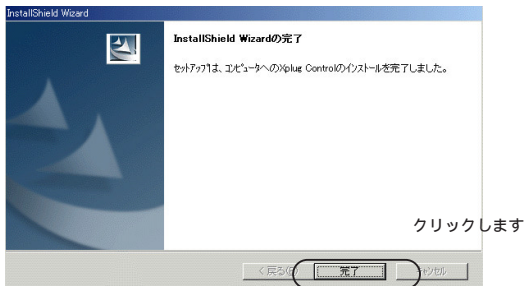
ActiveXコントロールを直接コンピュータにインストールすることも可能です。

1.付属のManual&Utility CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。インストーラが自動的に起動し、メニュー画面が表示されます。

注意　●画面が立ち上がらない場合はCD-ROM内のAxtiveXのフォルダから「xpctrl.exe」をダブルクリックしてください

2.「ActiveXのインストール」をクリックします。

クリックします

3. 以下の画面が表示されますので「次へ」をクリックします。

クリックします

4. 「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されます。内容をご確認の上、「はい」をクリックします。

5. インストールが開始されます。インストール完了ダイアログボックスが表示されたら「完了」をクリックします。

付録G. ピンの調整

本製品は用途に合わせ、CSマウントの交換レンズを使用します。レンズはフォーカスリングを装備し、フォーカスリングを回すことでピントを調節して最適な映像を得ることが出来ます。

ピントを調節するには、フォーカスリングを時計方向／反時計方向に回します。

＊より高品質の映像を得るために、WEB設定画面から画像の設定をおこなうことができます。本マニュアルの第4章「WEBブラウザからの設定」、「3-2イメージ」を参照ください。

付録H. 仕様

型番		CS-W01B
カメラ部	解像度	640 x 480、320 x 240 ピクセル
	画像圧縮方式	JPEG (5 レベル)
	セキュリティ	ユーザー名、パスワード
	対応プロトコル	HTTP、FTP、TCP/IP、UDP、ICMP、DHCP、SMTP
	最大ユーザ数	64 ユーザー
	映像素子	1/3 インチカラーCMOS
	最低焦点	2.5lux@f1.4、3000K カラー
	焦点距離	6.0 mm
	レンズの明るさ	F1.8
有線LAN インタフェース	規格	IEEE802.3/IEEE802.3u準拠(10BASE-T/100BASE-TX)
	ポート数	RJ-45 x 1 ポート、自動認識
	通信速度	10Mbps/100Mbps
無線LAN インタフェース	規格	IEEE802.11b準拠
	通信速度	1/2/5.5/11Mbps
	セキュリティ	ESS-ID、WEP (64bit/128bit)
画像表示 /設定環境	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE、 MacOS 9.0以降/X(10.2以降)※2、Linux※3
	CPU	Pentium II, 266 MHz 以上
	メモリ	32 MB (64MB 推奨)
	VGAカード解像度	800x600 以上
	ブラウザ	(Internet Explorer 5.0 以上、またはNetscape 6.0 以上) * Windows OS: ActiveX と Java を使用した画像表示 * Windows 以外のOS: Java を使用した画像表示
専用ユーティリティ	対応OS	Windows XP/2000/Me/98SE
動作環境	CPU	Pentium III, 450 MHz 以上
	メモリ	128 MB (256 MB 推奨)
	VGAカード解像度	800×600 以上
外形寸法/重量(本体のみ)		72(W)×44(H)×135(D)mm/150g(アンテナ除く)
消費電力		最大 4.25W
EMI		VCCI class B, FCC class B, CE
動作温度		5~40℃
湿度		35~85%(結露なきこと)

付録I. 用語

10BASE-T

イーサネットの規格の一つ。UTPケーブルを使ってLAN内の各機器を接続し、10Mbpsの速度で通信が行われます。

100BASE-TX

イーサネットの規格の一つ。UTPケーブルを使ってLAN内の各機器を接続し、100Mbpsの速度で通信がる。

802.11b

無線LANの規格に1つ。 2.4GHz帯域幅を使い、11Mbpsまでの速度で通信が行われる。

アクセスポイント

無線LANと有線LANを繋ぐハードウェアで、有線LAN側に接続されます。

アプレット

ネットワークを通してWEBラウザーにダウンロードされ、HTMLのページに埋め込まれて実行されるJavaプログラムのこと。

ASCII

American Standard Code For Information Interchangeの略で、8ビットの文字のコード体系で、最大256種類の文字まで扱える。

ARP

Address Resolution Protocolの略で、TCP/IPでIPアドレスからMACアドレスを求めるのに使われるプロトコル。

AVI

Audio Video Interleaveの略で、Microsoftが開発した、Windowsで音声付き動画を扱えるフォーマット。

BOOTP

Bootstrap Protocolの略で、ネットワークデバイスが自動でサーバから設定を読み出せるプロトコル。

接続

ネットワーク環境において、通信を目的にした機器間の接続のこと。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの省略で、Microsoftが開発した、ネットワーク機器に動的にIPアドレスの割り当てるプロトコル。機器がネットワークに接続するたびにIPアドレスを取得するため、手動設定が不要で、ネットワーク管理者の負荷を軽減できる。

DNS
インターネット上のIPアドレスを文字列のドメイン名に置き換えるシステム。

イーサネット
最も普及しているLAN通信の技術。10Mbps (イーサネット)、100Mbps (ファーストイーサネット)、1000Mbps (ギガビットイーサネット)など、いくつかの種類に分けられる。通常は、カテゴリ5のUTPケーブルを使用し、アクセス制御にはCSMA/CDを採用している。

ファストイーサネット
通信速度を100Mbpsにの高速なイーサネット。

ファイヤーウォール
セキュリティ確保のために設けられる、企業内ＬＡＮ(イントラネット)を不正アクセスから守るための仕組み。

ゲートウェイ
異なる媒体やプロトコルを使用するコンピュータを接続し、通信を可能にする機器。

HEX
16進数を表す省略。0から9までの10種類の数字と、A～Fまでの6種類の文字が使用されている。例えば、10進数の15は、16進数で言うとFになる。

IEEE
Institute of Electrical and Electronic Engineersの省略。

イントラネット
企業内などのプライベートネットワークのこと。インターネットと違って、内部的に使用される。

インターネット
TCP/IPプロトコルを使用する、全世界のネットワークを相互に接続した最大規模のネットワーク。

IP address
TCP/IPプロトコルを使用したネットワークにおいて、各ネットワーク機器やコンピュータごとに割り当てられる個別の32bitの番号。

JAVA
クライアント-サーバのプログラミング分野上の問題を解決するため作成されたインターネット上でのプログラムに最適なネットワークプログラム言語です。Javaセキュリティ機能は、Netscape Communicator 4.5以降、またMicrosoft Explorer 4.0以降といった最新のブラウザに組み込まれています。

NWay Protocol
ネットワーク機器間の通信速度を自動認識し、最適な速度をネゴシエーションを行うプロトコル。

PING

Packet Internet Groperの省略で、特定のIPアドレスはアクセス可能かどうか確認するのに使われるコマンド。

ルータ

ネットワークレイヤー（L３）で動作する機器で、類似した、もしくは異なるネットワーク間のルーティングを行う。ルータはネットワークプロトコルとアドレス（IP、IPX）を認識することができるため、ブリッジやLANスイッチと比べ高性能になっている。

SMTP

The Simple Mail Transfer Protocol の省略。 TCP/IPのネットワークにおいて、電子メールを転送するためのプロトコル。

SNMP

インターネットおよびUPP/IPベースのネットワークの管理を行うための標準プロトコルです。

サブネットマスク

TCP/IPプロトコルにおいて、ネットワークを識別するIPアドレス内のビット数。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの省略で、インターネットやイントラネットに標準的に使用されるプロトコル。

UDP

User Datagram Protocol の省略。コネクションレス型通信のプロトコル。

ユーティリティ

特定の目的のため設計されたアプリケーションのこと。

UTP

通信ケーブルの種類の1つ。ワイヤーを2本ずつ寄り合わせた、シールドしていないケーブル。

WAN

Wide Area Networkの省略。電話回線や専用線を使用し、地理的に離れた拠点にあるコンピュータ同士をつないでデータやり取りを可能にする。

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

http://www.planex.co.jp/user/

弊社へのお問い合わせ

■弊社製品の追加購入
弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。
ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。
〈PCIダイレクト〉
http://direct.planex.co.jp/

■製品に関するお問い合わせ
製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。
ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。
〈ご質問/お見積もりフォーム〉
http://www.planex.co.jp/lan.shtml

■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。
〈お問い合わせフォーム〉
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24時間
〈電話〉
フリーダイヤル：0120-415977
受付：月～金曜日、10～12時、13～17時
＊祝祭日および弊社指定の休業日を除く
〈FAX〉
ファクス番号：03-5614-1018
受付：24時間

◇お問い合わせ前のお願い
サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。
お客様のご協力お願いいたします。
・弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
・ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）
・ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）
・ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）

■その他
その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。
プラネックスコミュニケーションズ
http://www.planex.co.jp/

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、
下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行
FAX：03-5614-1018

送信日：　　　年　　　月　　　日

会社名		部署名	
名前			
電　話		FAX	
E-MAIL			

製品名	有線/無線LAN両対応ネットワークカメラ
型番 Product	**CS-W01B**
製造番号 Serial No.	

① ご使用のコンピュータについて

メーカー	
型番	

② ソフトウェア

ネットワークOS		バージョン	
OS		バージョン	

③ 質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社